

【概況】 8 月 23 日に行いましたプランクトン調査(播磨灘)の結果についてお知らせします。
 ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ・オバータ、カレニア・ミキモトイ、コクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されましたが、いずれも低密度でした。
 ・主な小型珪藻類は、キートセロス属が播磨灘全域で確認されています(最高 150 細胞/mL)。
 ・播磨灘沖合の表層水温は約 25~26°C、塩分は約 30~31 の範囲で推移しています。

表：2021 年 8 月 23 日 有害プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

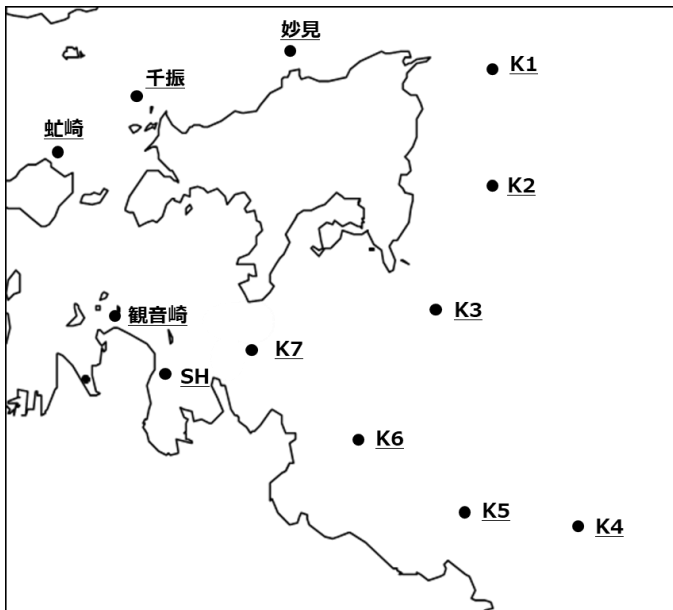
調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ (区分不能)	カレニア・ミキモトイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	シャットネラ・グロボーサ
K1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	5.00	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	0	0.33	0	0	1.67	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0.33	0	0	14.33	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K6	0	0	0	0	0	0	36.00	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K7	0	0	0	0	0	14	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0

* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています(ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です)。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】
 香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511
 香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：赤潮対策技術開発試験事業）



* 夏季の有害プランクトン調査は、通常は 7 定点(K1~7)で行っています。

有害種の発生が見られる場合には、5 定点(虻崎、千振、妙見、SH、観音崎)を追加しています(臨時調査定点)。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL